

読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要

- ① 大沼郡金山町大字川口字蛇沢 2 4 3 4 - 2
- ② 学級数 3 クラス 生徒数 6 0 名 (令和 4 年 5 月 1 日現在)
- ③ 学校図書館の蔵書数 1 8, 8 2 5 冊

2 読書活動推進へ向けたこれまでの取組

① P O P の作成

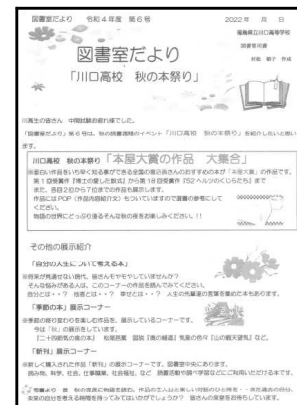
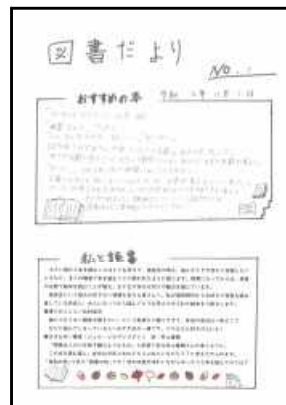
図書委員、また図書室を訪れる生徒に声をかけ、図書案内の P O P を作成している。手作りで制作された P O P は他の生徒の興味を引き、「これまで読んだことのない本を手にとることにつながった」との声もあった。文化祭でも展示され、他の生徒の新たな側面を知る機会にもなっている。



② 『図書だより』、『図書室だより』の発行

『図書だより』は、図書委員が図書館にある本の中からおすすめの本を選び、紹介文を書いている。また教職員に、「私と読書」として、これまでの人生における本との関わり方や、好きな本おすすめの本など、自由に書いてもらっている。最新の本や専門的な本、またそれぞれに個性的な本との関わり方が様々に紹介され、生徒も大変興味を持って読んでいる。

『図書室だより』は図書館司書が発行し、新刊情報を主に、さまざまなテーマで図書案内や読書案内を行っている。『図書だより』と合わせて、生徒たちの読書への興味を喚起している。



③ 購入図書について

各教科と連携しながら、選定を行っている。情報ネットワーク社会、SDGs、18歳成人、電子マネー等々、生徒を取りまく今日的话题を提供するものや、人文社会学的なもの、また進路選択に関わるキャリア教育的な内容の図書など、生徒たちにとって必要な様々な分野の図書を購入するようにしている。習慣的に図書に親しんでいる生徒はもとより、何となく図書館を訪れた生徒が手に取り、少しでも興味を持ちながら読書に時間を割く機会が増えればよいと考えている。



④ 教科と連携した取り組み

毎年3学期、国語科において「図書館の本を紹介しよう！」という活動を行っている。学校休業中の課題として図書室の本を全員1冊以上借り、休業明けの授業で、全員が図書案内として発表を行っている。日頃、読書の習慣のない生徒にとって貴重な読書の機会となるとともに、級友の様々な語り口による案内により、読書意欲が喚起されている。



⑤ 地元奥会津について

地元奥会津に関わる『聞き書き』の本や、奥会津の生活・歴史・方言などの様々な文化を紹介する本を配置している。地域に根ざした学校として、地域理解を深め、「総合的な探究の時間」等を通じて、より地域に関わっていきたいと考えている。

